

人権教育の「ツボ」

人権尊重の視点に立った教室環境は、子どもに「一人の人間として大切にされている」という実感を持たせます。また、自他の人権を尊重しようとする感覚や意志を芽生えさせ、それらを育むことにつながります。

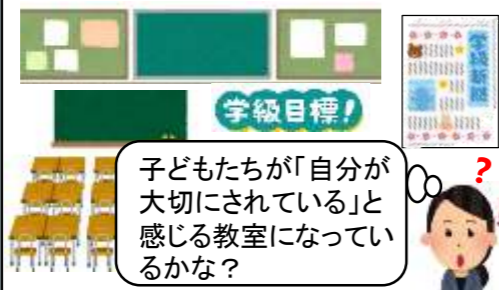
人権尊重の視点に立った教室環境づくりの「ツボ」

- 1 教室環境も「隠れたカリキュラム」であるという認識を
- 2 学年の人権教育の指導の重点を意識した教室環境づくりを
- 3 教室環境が教育的効果をもたらせるよう、意図的な働きかけを

教室環境づくりの「ツボ」の具体例

1 教室環境も「隠れたカリキュラム」であるという認識を

教室環境づくりは、単に物を掲示したり、配置したりすればよい、というものではありません。子どもが**教室環境から様々な影響を受けるということを認識**し、人権尊重の視点に立った環境づくりを進めることが大切です。



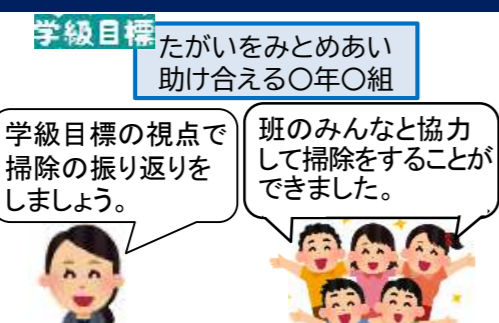
2 学年の人権教育の指導の重点を意識した教室環境づくりを

学年の人権教育の指導の重点とは、一年間の力の入れどころのことです。それを**意識して教室環境づくり**をすることで、意図的・計画的に人権教育を推進することができます。



3 教室環境が教育的効果をもたらせるよう、意図的な働きかけを

例えば、掲示している学級目標を使い、その目標に照らして帰りの会で一日の生活を振り返らせる等、**子ども自身が自分や集団の成長を実感できるような教師の意図的な働きかけ**が大切です。



教師には、人権尊重の視点に立った教室環境づくりが求められています。そのために、教室環境の一つ一つを意図的・計画的に、しかも適切に整備・配置していくことが大切です。

参考：福岡県人権教育推進プラン(平成21年 福岡県教育委員会)
若い教師のための 教育実践の手引き(令和2年 福岡県教育委員会)

研修コラム

人権尊重の視点からの学校づくりと学力向上 ～築上町立八津田小学校の実践から～

【参考】効果のある学校
(前略)「教育的に不利な環境の下にある児童生徒の学力の水準を押し上げている学校」において、**学力の向上と人権感覚の育成とが併せて追求**されている点に注目しており、**人権感覚の育成は**、児童生徒の自主性や社会性などの人格的な発達を促進するばかりではなく、学校の役割の大事な部分を占める**学力形成においても成果を上げているとの指摘**をしている。(後略)
人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]P15より

児童生徒の学力の向上を図る上でのポイント

- ① 各教科等の目標の達成を図る際に、
- ② 人権教育で育てたい資質・能力との関連について、十分に考慮して指導することが効果的です。

築上町立八津田小学校の実践～国語科を中心に～

令和2年度第2回福岡県人権教育研修会において「**学力と進路の保障**」をテーマに、八津田小学校は、公開授業を伴う研究発表を実施しました。研究の特徴は、以下の2点です。

- ① 各教科等の本時の目標達成に向けた手立て
☆学力向上『虎の巻』の活用
- ② 人権教育で育てたい資質・能力の育成に向けた手立て
☆**主な学習活動における児童への価値付け**

特に、②について紹介します。
八津田小学校は、国語科の指導の中で、人権教育で育てたい資質・能力を主な学習活動における「**教師の価値付け**」によって育てています。その資質・能力は、当校の人権教育の指導の重点である「**自他の価値の尊重**」と「**コミュニケーション能力**」です。どちらも人権感覚に含まれる価値や態度です。

～自他の価値を尊重する態度の育成(例)～

<価値付けまでの手順>

- ① 育成を目指す資質・能力について発達段階に応じた姿を設定
- ② 学習活動の中での目指す児童の発言キーワードを設定
- ③ 育成につながる学習活動を設定
- ④ 学習活動の中で、発言キーワードをもとに、教師が価値付け

<中学年の例>

- 目指す姿は、「自分の考えや感じ方に自信をもち、他者の考え方や感じ方を受け入れようとする。」だ。
- 「なるほど」「わかるー」というつぶやきが出るようにしたい。
- そのつぶやきは、グループでの対話活動の中で出させたい。
- Aさんが、Bさんの発言に「わかるー」ってつぶやいたぞ。対話活動後に、その価値を伝えよう。

自分とは違う考えを受け入れるって素敵なことなんだな。

Aさんの「違う考えだけど、それもわかる」という発言は、自分とは違う考えを受け入れることができたということですね。素敵ですね。

詳しくは、八津田小学校研究発表会要録(各学校1部配布)をご覧ください。

あいのて

26号
新年度準備号
令和3年3月

I note.....



発行 京築教育事務所人権・同和教育室

はじめに

職員室は子どもの『安全地帯』

上記は、大阪市立大空小学校初代校長木村泰子氏の言葉(週刊教育資料No.1600 2021.2.8より)です。

子どもたちは、家庭及び地域における生活背景や友達等との人間関係に起因する様々な課題を背負いながら学校生活を送っています。また、様々な人権上の課題に向き合って生活している子どももいます。だからこそ、学校はすべての子どもに安心感を与え、心安らぐ場所としての役割があると思います。

中でも、常に大人(教職員)がいる職員室は、その役割を果たす大切な場所の一つです。

木村泰子氏は、「職員室を、子どもにとってどんなに困ったことがあっても、何とかしてくれる安心できる場と信じ、飛び込んで行ける『安全基地』にすること」と述べています。

このメッセージは、学校にいるすべての大人(教職員)が一丸となって子どもに寄り添い、子どもの背景にある生活や現実の厳しさを見抜きながら、成長や変化を生み出せるような支援を積み重ねていくことの大切さを伝えているのではないかと考えます。そのことが、子どもの自己実現を支援することにつながるのではないのでしょうか。

今号の「I note あいのて」も、子ども一人一人の存在や思いが大切にされる環境づくりに向けての手がかりとなる情報を発信します。一読いただくと幸いです。

「I note あいのて(26号)」のメニュー

- ◇人権教育のツボ「人権尊重の視点に立った教室環境づくり」
- ◇研修コラム
人権尊重の視点からの学校づくりと学力向上
～八津田小学校の実践から～
- ◇人権が尊重される「環境づくり」～教室環境づくり編～

人権が尊重される「環境づくり」 ～教室環境づくり編～

人権尊重の「環境づくり」は、学校全体の雰囲気そのものにかかわるものであり、こうした雰囲気は、教職員の日常的な言動の在り方や、教職員と児童生徒の間、児童生徒同士の間の人間関係の在り方等によって形作られるものです。(中略)

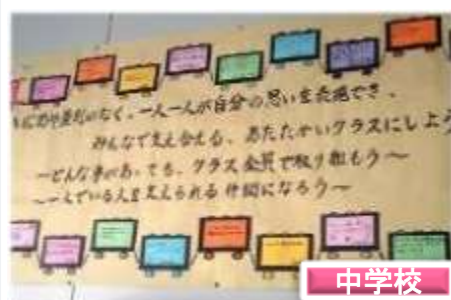
さらに、日々の学級経営において、**教室が、安心して過ごせる、学べる場**となるよう、**人権尊重の視点に立った教室環境の整備**に努めることが重要です。

引用：人権教育の指導方法等の在り方について【第三次とりまとめ】

人権尊重の視点に立った**教室環境づくり**4つの視点と取組例！

視点① 人間関係を深め、安心して生活・学習ができる場づくり

○児童生徒の自画像やコメント等で囲んだ学級目標を掲示することは、**児童生徒の自己存在感**を育むことにつながります。



子どもに学級の一員であるという実感をもたせたい。

ここが私の居場所！学級目標の達成を目指して、学級の一員として、みんなと共に頑張ろう。

学級目標を視点にした日常の学校生活の「振り返り」例は裏面の人権教育の「ツボ」で紹介しています。

○児童生徒が情報を自主的に発信できる「係活動コーナー」等を設置することは、**学級づくりへの参画意識**を育むことにつながります。



安心して学級生活を送ることのできる学級づくりに向けて、子どもの参画意識を高めたい。

学級目標達成に向けて、私たちの係もクイズ係のように何かできないかな。係のメンバーと相談してみよう。

係からのお知らせ
学級への呼びかけ

○学習の成果物に教師、級友のコメントを添えて掲示することは、**相互理解と肯定的なセルフイメージ**を育むことにつながります。

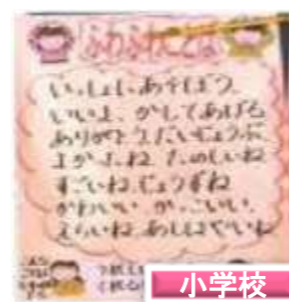
作品	級友のコメント
	級友のコメント
自評	教師のコメント

友達のよいところに着眼し、それを認めることができる子どもになってほしい。

〇〇さんのここがステキだな。私もまねをしてみようかな。

私にはこんなよい所があったんだ。自信がもてるな。

○「聞き方・話し方スキル」など、コミュニケーションを円滑にする手がかりを掲示することは、**他者との豊かな人間関係につながるコミュニケーション力**を育むことにつながります。



子どもたちが、自分も友達も大切にできるように、言語環境を整えたい。

「ふわふわことば」で言われるととてもよい気持ちになるな。こんな言葉をたくさん使いたいな。

○児童生徒の「私の好きな言葉、本や音楽の紹介」等のコーナーを設置することは、**児童生徒の相互理解**を育むことにつながります。

○各教科等で学習した内容を掲示することは、**共に学ぶよさや喜び**を共有したり、実感したりすることにつながります。

視点② 課題意識を高める場づくり

○人権教育に関する新聞や雑誌の切り抜きのコーナーを設置することは、児童生徒の**人権に関する興味・関心や課題意識**を持たせることにつながります。

あなたはと思う？
新聞記事
教師のコメント等

人権について関心を持ち、自分事のできるようにしたい。

身近にこんな人権問題があるんだ。当事者は、こんな思いを抱いていたんだ。私だったらどう考え、どう行動するだろうか。

視点③ 発見の喜びを味わえる場づくり

○子どもが発見した友達のよさを掲示することは、**他者への関心**を持たせることにつながります。

よいとこみつけ	
〇〇さん よい所 〇〇より	〇〇さん よい所 〇〇より
〇〇さん よい所 〇〇より	〇〇さん よい所 〇〇より

互いのよさを認め合う子どもどうしの人間関係を作りたい。

〇〇さんにはこんなよい所もあるんだ。もっと友達のことを知りたいな。

私にはこんなよい所があるんだ。気付くことができうれしいな。

視点④ 創造する喜びを味わえる場づくり

中学校

○児童生徒の発想を生かした詩や絵などのコーナーを設置することは、**自分らしさを表現する態度**を育むことにつながります。



子どもたちに自分らしさを自由に表現する喜びを感じさせたい。

〇〇さんの俳句から、新学期を迎えての思いが伝わってくるな。みんなも自分の思いをしっかり表現しているな。

参考 人権教育の指導方法等の在り方について【第三次とりまとめ】特別活動 指導資料 小学校編 中学校編 若い教師のための教育実践の手引き(令和2年度版)

安全・安心な教室環境が基盤です



きちんと並べられた机

整理された棚

みんなが安心して学べる教室環境を整えたい。

安全で清楚な美しい環境は、児童生徒の心を落ち着かせます。

きれいな教室だと集中して学習に取り組めるな。



縦・横がそろった背面掲示

整理された遊具・掃除道具